

## 単元名 プロジェクト実現に向けて行動しよう！

### 単元の目標

- 取り組んでいる作業を目的と照らし合わせたり、作業が上手くいかない場合はその原因を追究したりするなどして、プロジェクト実現に向けての行動を起こそうとしている。【社会参画に関する資質能力】
- プロジェクト実現に向けて役割を分担し、それぞれの役割を果そうと行動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 話し合い活動を通して、自分達が取り組みたい活動を、目的・対象・費用といった観点から整理し、取り組みの経過をまとめている。【自律的活動に関する資質能力】

### 評価規準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

| 観点                                   |                 |      | 評価規準                                                                                                           |
|--------------------------------------|-----------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A ◎地域理解                              |                 | 【地理】 | ・作業を通して、「住田の森林は、林業に携わる人が願いを持って育てている」「住田で暮らす外国の方は、SNSに住田の素敵なスポットを投稿し魅力を発信している」といった、携わる人たちの思い・願いや日常生活に気づくことができる。 |
| B<br>社会参画に関する資質能力                    | 1 ☆見通す力         | 【☆見】 | ・                                                                                                              |
|                                      | 2 ☆多角的・多面的に考える力 | 【☆多】 | ・                                                                                                              |
|                                      | 3 ☆提案・発信する力     | 【☆提】 | ・                                                                                                              |
|                                      | 4 ★好奇心・探究心      | 【★好】 | ・                                                                                                              |
|                                      | 5 ★困難を解決しようとする心 | 【★解】 | ・作業を通して、「〇〇のために、という目的に向かっていているか」「上手くいかない原因はどこにあるのか」「誰に聞いてみれば分かるか」といった、活動実現に向けての行動を起こそうとしている。                   |
| C<br>関人<br>す人間<br>関関係<br>資質形成<br>能力に | 1 ☆伝え合う力        | 【☆伝】 | ・                                                                                                              |
|                                      | 2 ☆協働する力        | 【☆協】 | ・作業中に「私は食器の使い心地をインタビューしてくる」「僕は作った食器を宣伝するためにポスターを作ってみる」といったように、プロジェクト実現に向けて役割分担をして活動することができる。                   |
|                                      | 3 ★他者受容         | 【★受】 | ・                                                                                                              |
| D<br>関自<br>律的<br>活動<br>資質能力に         | 1 ☆感じ取る力        | 【☆感】 | ・                                                                                                              |
|                                      | 2 ☆創出する力        | 【☆創】 | ・話し合い活動を通して、自分達が取り組みたい活動を、「何のために」「誰のために」「何を」「いつまでに」「どこで」「どれくらいの費用で」といった観点から整理し、活動の実現までの過程をまとめている。              |
|                                      | 3 ★自己肯定感        | 【★肯】 | ・                                                                                                              |

(全 20 時間)

[illegible]

## 単元名 プロジェクトに取り組んでみて…

### 単元の目標

- 報告会や「まとめレポート」の作成を通して、今年度の取り組みの成果や課題を報告する。【社会参画に関する資質能力】
- 話し合い活動や報告会などを通して、話し手が成果を発信したり、聞き手が質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行う。【人間関係形成に関する資質能力】
- 報告会や振り返りを通して、達成感を味わったり、次年度に向けての意欲を高めようとしていたりしている。【自律的活動に関する資質能力】

### 評価規準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

| 観点                                                   |                 |      | 評価規準                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------|-----------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A ◎地域理解                                              |                 | 【地理】 | ・「まとめ」「振り返り」を通して、①「住田の森林は、資源の循環を意識し生産されている。その素材を活用した食器を作ったので、町内外の皆さんに使って欲しい」といった成果や、②「活動を通して、住田の森林の良さに改めて気が付くことができた。大人になった時に、町外の人にもその良さを伝えていきたい」といった思い・願いを表現することができる。 |
| B<br>社会参画に関する資質能力                                    | 1 ☆見通す力         | 【☆見】 | ・                                                                                                                                                                     |
|                                                      | 2 ☆多角的・多面的に考える力 | 【☆多】 | ・                                                                                                                                                                     |
|                                                      | 3 ☆提案・発信する力     | 【☆提】 | ・報告会や「まとめレポート」の作成を通して、「住田の森林資源をいかした食器を作り、町内外の人に使い心地を聞くことができた」といった成果や、「よりたくさんの人に利用してもらう機会を作りたい」といった課題を報告することができる。                                                      |
|                                                      | 4 ★好奇心・探究心      | 【★好】 | ・                                                                                                                                                                     |
|                                                      | 5 ★困難を解決しようとする心 | 【★解】 | ・                                                                                                                                                                     |
| C<br>関人<br>関<br>関<br>資<br>質<br>形<br>成<br>能<br>力<br>に | 1 ☆伝え合う力        | 【☆伝】 | ・話し合い活動や報告会などを通して、話し手が「私たちは住田の森林資源を活かした食器を作った」といった成果を発信したり、聞き手が「産業祭りなどに提供すれば、もっとたくさんの人に広まったのでは？」と質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行うことができる。                              |
|                                                      | 2 ☆協働する力        | 【☆協】 | ・                                                                                                                                                                     |
|                                                      | 3 ★他者受容         | 【★受】 | ・                                                                                                                                                                     |
| D<br>関<br>自<br>律<br>的<br>活<br>動<br>に<br>力            | 1 ☆感じ取る力        | 【☆感】 | ・                                                                                                                                                                     |
|                                                      | 2 ☆創出する力        | 【☆創】 | ・                                                                                                                                                                     |
|                                                      | 3 ★自己肯定感        | 【★肯】 | ・報告会や振り返りを通して、「苦労をしながらも活動をやり遂げることができた」「地域の方から、がんばりを認めてもらった」といった気持ちを味わい、次年度に向けての意欲を高めようとしている。                                                                          |

(全 10 時間)

[illegible]

# 単元名 インターナショナルプロジェクト ～交流を通して考える国際社会住田～

## 単元の目標

○地域に暮らす外国人の方との交流を通じて、国籍が異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に持続可能な社会を形成し生きていくために、自分たちのできることを考えることができる。【社会参画に関する資質能力】  
 ○よりよい国際社会実現のために、相互理解を深めながら集団での活動を行うことができる。【人間関係形成に関する資質能力】  
 ○よりよい国際社会について必要なことを見極めながら、交流会の企画に発想を生かしたり、自身の可能性に気付いたりして生き方について考えることができる。【自律的活動に関する資質能力】

## 評価規準

| 観 点                                         |                 |      | 評価規準                                                                                                       |
|---------------------------------------------|-----------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A ◎地域理解                                     |                 | 【地理】 | ・外国との関係を深める住田町の現状を踏まえ、住田固有のよさを継承したり、現在住田町が抱えている課題について、よりよい解決を目指したりするなど、積極的に地域の一人として生きる自分を自覚しながら取り組むことができる。 |
| B<br>社会参画に関する資質能力                           | 1 ☆見通す力         | 【☆見】 |                                                                                                            |
|                                             | 2 ☆多角的・多面的に考える力 | 【☆多】 | ・収集した情報や考えなどを関係性について分析して解釈し、交流会の企画・実施を通じてより妥当な考えとして具現化することができる。                                            |
|                                             | 3 ☆提案・発信する力     | 【☆提】 | ・持続可能な社会づくりの視点から、これからの住田町にとって望ましい交流の在り方について交流会の企画を通じて具体的に提案することができる。                                       |
|                                             | 4 ★好奇心・探究心      | 【★好】 |                                                                                                            |
|                                             | 5 ★困難を解決しようとする心 | 【★解】 |                                                                                                            |
| C<br>関人<br>す人間<br>関係<br>資質<br>形成<br>能力に     | 1 ☆伝え合う力        | 【☆伝】 | ・自分の考えが伝わるように、場の状況を判断しながら言葉を選ぶなどの適切な働きかけを行ったり、様々な立場や考え方を尊重しながら他者の考えを受け止めて相互理解を深めることができる。                   |
|                                             | 2 ☆協働する力        | 【☆協】 | ・集団での活動において、活動する意義や目標を捉え、互いに協力し、その中で自分の役割や責任を自覚し集団の一員として活動することができる。                                        |
|                                             | 3 ★他者受容         | 【★受】 | ・外国の方々の様々な個性や立場を尊重し、広い視野に立ってよりよい国際社会を求めようとする。                                                              |
| D<br>関自<br>す律<br>的活<br>動<br>資質<br>形成<br>能力に | 1 ☆感じ取る力        | 【☆感】 | ・活動を通じて自分自身の考えを深め、よりよい国際社会について本質的に必要なことを見極めながら、自己の在り方について考えることができる。                                        |
|                                             | 2 ☆創出する力        | 【☆創】 | ・感じたことや考えたことをもとに、交流会を企画するために発想を生かして創造的に表すことができる。                                                           |
|                                             | 3 ★自己肯定感        | 【★肯】 | ・学習から得た達成感や自信から、自分の良さや可能性に気付く、自分の生き方を考えていこうとする。                                                            |

# 単元の指導

(全 7 時間)

| プロセス               | 月  | 時 | 小単元名                                   | 主な活動内容と<br>関連する教科・領域                                                                                                                                                                                         | 働かせたい<br>資質・能力 |    |    |                |
|--------------------|----|---|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----|----|----------------|
|                    |    |   |                                        |                                                                                                                                                                                                              | A              | B  | C  | D              |
| 問題<br>現状の把握<br>・理解 | 7  | 1 | 自身の<br>考えを<br>自覚化<br>する                | 地域における国際化の状況について自身の考えを自覚化する<br>○1年時や前学年のインターナショナルプロジェクトの振り返りをもとに、現在の自分の考えを持つ。<br>○単元を見直し、考えていくことや、まとめ振り返り段階で取り組む活動の内容について理解する。<br>○次時の情報収集段階に向けて、質問の内容を考える。                                                  | 地理             | ☆多 |    | ★肯             |
| 情報<br>収集           | 8  | 1 | 現状に<br>ついて                             | 地域における国際化の現状について認識する<br>○町内の、外国とのつながりの強い企業から講師を招き、国際企業の現状を学ぶ。<br>○質疑応答により、町で働く外国人のことについてより詳しく知る。<br>○地域に住む外国の方との交流会の内容について立案する見直しをもつ。<br><br>【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】                                    |                | ☆多 | ★受 |                |
| 見通し<br>計画する<br>・持つ | 9  | 3 | 多文化<br>共生が<br>社会の<br>実と現<br>をに考<br>えける | 前時を基に交流会の内容を企画する<br>(2学期 1単位時間 H31年度ベトナムの方を招いて 2・3年生それぞれに)<br>○グループで話し合う。<br>○各グループの考えを交流する。<br>○学年としての企画に練り上げる。<br>○必要なことを準備する。<br><br>【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】                                         |                | ☆提 | ☆協 | ☆創             |
| 実施                 | 9  | 1 |                                        | ○前時までに企画した内容で交流会を実施し、自分たちの意見との違いや他の人の考えの良い点などを知る。<br>○交流したゲストティーチャーの方に向けてビデオメッセージを撮影するために必要なことを考える。<br>○単元を通じて感じたことを「多文化共生社会において大切なことや必要なこと」としてまとめる準備をする。(授業当日・自宅)<br><br>【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】       |                |    | ☆伝 | ☆感<br>☆創       |
| 振り返り<br>・まと        | 10 | 1 |                                        | ○交流したゲストティーチャーの方に向けて、ビデオメッセージを撮影する。<br>○撮影したメッセージは、ゲストティーチャーの所属会社等を通じて本人に届ける。<br>(互いの中学校でも交流、住田テレビでの放送あり)<br>○単元を通じて感じたことを「多文化共生社会において大切なことや必要なこと」としてまとめる。(振り返りは次年度にのこす)<br><br>【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】 |                |    | ☆伝 | ☆感<br>☆創<br>★肯 |

## 単元名 住田の魅力とは…

### 単元の目標

- 調査活動を通して、他の町には無い(少ない)住田町の持つリソースに気づき、模造紙等に整理することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 住田町の持つリソースを知るために町民にインタビューをしたり、気がついたことをクラスメイトに発表したりすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- インタビュー等を通して、世代や職種などの違うことで住田町の持つリソースの捉え方が違うことに気づき、その気づきをプロジェクトの立案に活かそうとしている。【自律的活動に関する資質能力】

### 評価規準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

| 観点                    |                 | 評価規準 |                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------|-----------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A ◎地域理解</b>        |                 | 【地理】 | ・調査活動を通して、生徒の思う「遊び場が少ない」「観光地が少ない」といった課題の他に、地域の人が思う「林業に従事する人が年々減少している」「外国語が見当たらず、病院を探すことに苦労している」といった課題を知ることができる。<br>・調査活動を通して、「他の地域よりも森林資源が多い」「他の地域よりも、外国出身の方が生活に根付いている」といった地域のリソースを具体化することができる。                                            |
| <b>B 社会参画に関する資質能力</b> | 1 ☆見通す力         | 【☆見】 | ・オリエンテーションを通して、今年度の活動が「住田の〇〇をいかして、住田の魅力を高めるためのプロジェクトを考えよう」とあるという目的を確認し、7月にプラン発表会、11月に報告会、12月にまとめがあることに気づく。                                                                                                                                 |
|                       | 2 ☆多角的・多面的に考える力 | 【☆多】 | ・調査活動を通して、「遊び場が少ない」「観光地が少ない」といった生徒が抱く課題の他に、「林業に従事する人が年々減少している」「外国語が見当たらず、病院を探すことに苦労している」といった、自分達と異なる世代・立場の人の課題もあることに気づくことができる。<br>・地域のリソースを具体化する活動を通して、「都市に無くて住田にあることが、住田の魅力だ」「都市にあって住田に無いものが、住田の課題だ」といったように、住田にある(無い)ヒト・モノ・出来事を捉えることができる。 |
|                       | 3 ☆提案・発信する力     | 【☆提】 | ・                                                                                                                                                                                                                                          |
|                       | 4 ★好奇心・探究心      | 【★好】 | ・                                                                                                                                                                                                                                          |
|                       | 5 ★困難を解決しようとする心 | 【★解】 | ・                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>C 関人す間関係資質形成力に</b> | 1 ☆伝え合う力        | 【☆伝】 | ・調査活動で調べた「他の地域よりも森林資源が多い」「他の地域よりも、外国出身の方が生活に根付いている」といった内容を紙面にまとめたり、発表したりするなどして、クラスメイトに伝えようとしている。                                                                                                                                           |
|                       | 2 ☆協働する力        | 【☆協】 | ・                                                                                                                                                                                                                                          |
|                       | 3 ★他者受容         | 【★受】 | ・調査活動を通して、「住田で林業に携わっている人は、跡継ぎがいなくて困っているんだ…」「住田で暮らす外国の方は、病院を探すことに苦労しているんだ…」といった、自分達と異なる世代・立場の人の考えを受け止めることができる。                                                                                                                              |
| <b>D 関自律的資活動能力に</b>   | 1 ☆感じ取る力        | 【☆感】 | ・調査活動を通して、「今後計画するプロジェクトは、自分達のことだけではなく、自分達とは違う立場・世代の人にもハッピーになるプロジェクトを考える必要がある」といった気持ちが芽生えようとしている。<br>・調査活動を通して、「住田町にあるヒト・モノ・出来事は、住田の魅力を高めるために、活かすことができるものだ！」といった気持ちが芽生えようとしている。                                                             |
|                       | 2 ☆創出する力        | 【☆創】 | ・                                                                                                                                                                                                                                          |
|                       | 3 ★自己肯定感        | 【★肯】 | ・                                                                                                                                                                                                                                          |

(全 10 時間)

| プロセス      | 月 | 時                   | 小単元名       | 主な活動内容と<br>関連する教科・領域           | 働かせたい<br>資質・能力 |      |      |      |
|-----------|---|---------------------|------------|--------------------------------|----------------|------|------|------|
|           |   |                     |            |                                | A              | B    | C    | D    |
| オリエンテーション | 4 | 1                   |            | 地域創造学の目的を確認したり、一年間の見通しを持ったりする。 |                | 【☆見】 |      |      |
| 調査活動      | 4 | 4                   | 地域の現状を知る   | ①自分達や地域の人が抱える課題について調べる。        | 【地理】           | 【☆多】 | 【★受】 | 【☆伝】 |
|           |   | ②調べた結果を、学級・学校で共有する。 |            |                                |                |      |      |      |
|           | 5 | 2                   | 地域のリソースを知る | ①他地域との相違点を見つける。                | 【地理】           | 【☆多】 | 【☆感】 | 【☆感】 |
|           |   | 2                   |            | ②見つけた結果を、学級・学校で共有する。           |                |      |      |      |
|           |   |                     |            |                                |                |      |      |      |
|           |   |                     |            |                                |                |      |      |      |
|           |   |                     |            |                                |                |      |      |      |
|           |   |                     |            |                                |                |      |      |      |
|           |   |                     |            |                                |                |      |      |      |

# 単元名 住田の〇〇をいかした住田の魅力を発信するプロジェクトを計画しよう！

## 単元の目標

- グループ毎に住田町のリソースを活かしたプロジェクトを考え、その実現に向けた計画をプラン発表会で提案することができる。【社会参画に関する資質能力】
- プロジェクトメンバーとの話し合い活動を通して地域の方に伝わるように資料を作成したり、プロジェクトプラン発表会で地域の方からアドバイスを踏まえ計画の修正を図ろうとしたりしている。【人間関係形成に関する資質能力】
- プロジェクトプラン発表会を通して、自身の携わるプロジェクトの良さや課題を知り、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

## 評価規準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

| 観点                    |                 | 評価規準 |                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------|-----------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>A ◎地域理解</b>        |                 | 【地理】 | ・話し合い活動を通して、「魅力を発信するために、森林資源をいかした食器がつくれそうだ」「課題を解決するために、外国の方から言語を学び、表紙作りにいかせそうだ」といったリソースを、町の魅力を高めるために活用できることに気づくことができる。<br>・話し合い活動や中間発表会を通して、「〇〇の〇〇さんが、木材について詳しいようだ」といった情報を収集し、地域のリソースに対する知識をさらに深めることができる。 |
| <b>B 社会参画に関する資質能力</b> | 1 ☆見通す力         | 【☆見】 | ・話し合い活動を通して、「目的は何か」「目的実現のために、いつまでに、何をするか」、「役割分担をどうするか」といった、プロジェクト実現までの見通しを具体化することができる。                                                                                                                    |
|                       | 2 ☆多角的・多面的に考える力 | 【☆多】 | ・                                                                                                                                                                                                         |
|                       | 3 ☆提案・発信する力     | 【☆提】 | ・                                                                                                                                                                                                         |
|                       | 4 ★好奇心・探究心      | 【★好】 | ・話し合い活動を通して、「魅力を発信するために、森林資源をいかした食器がつくれそうだ」「課題を解決するために、外国の方から言語を学び、表紙作りにいかせそうだ」といったアイデアを提案し、その中から、一年間をかけて取り組みたいプロジェクトを選択しようとしている。                                                                         |
|                       | 5 ★困難を解決しようとする心 | 【★解】 | ・                                                                                                                                                                                                         |
| <b>C 関人関関係資質形成力に</b>  | 1 ☆伝え合う力        | 【☆伝】 | ・話し合い活動を通して、「森林資源を活かして食器を創れば住田の魅力が高まるのでは…?」「看板を複数の言語にすれば、外国の方も安心して暮らせるようになり、住田の魅力が高まるのでは…?」といった、リソースをいかしたアイデアを、学級で提案しようとしている。                                                                             |
|                       | 2 ☆協働する力        | 【☆協】 | ・                                                                                                                                                                                                         |
|                       | 3 ★他者受容         | 【★受】 | ・プラン発表会での外部の専門家からの助言を通して、自分達では気づけなかった活動の魅力や、活動の改善点について気づき、「この点はよかったから、さらに続けよう」「この点は指摘されたから、改善しよう」といったように、助言を今後の活動にいかそうとしている。                                                                              |
| <b>D 関自律的資質能力に</b>    | 1 ☆感じ取る力        | 【☆感】 | ・                                                                                                                                                                                                         |
|                       | 2 ☆創出する力        | 【☆創】 | ・話し合い活動を通して、「普段見慣れている住田の木は、東京に無いため、住田の魅力になるのではないかと…」といった、リソースを見つける視点を得ることができる。                                                                                                                            |
|                       | 3 ★自己肯定感        | 【★肯】 | ・プラン報告会を通して、「次回から、実際にプロジェクトに取り組みそうだ!」「『誰のために』と『何のために』の考えが、専門家に認められた!」などといった達成感を味わい、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。                                                                                             |

# 単元の指導

(全 12 時間)

| プロセス                                           | 月 | 時 | 小単元名        | 主な活動内容と<br>関連する教科・領域                                 | 働かせたい<br>資質・能力 |      |      |      |
|------------------------------------------------|---|---|-------------|------------------------------------------------------|----------------|------|------|------|
|                                                |   |   |             |                                                      | A              | B    | C    | D    |
| 試<br>行<br>及<br>び<br>計<br>画<br>の<br>見<br>直<br>し | 5 | 2 | プロジェクトチーム編成 | ①地域の魅力を高めることができる・地域の課題を解決できる、リソースをいかしたプロジェクトの案を作成する。 | 【地理】           | 【★好】 | 【☆伝】 | 【☆創】 |
|                                                | 6 | 1 |             | ②①の中から、自分達に実現可能なプロジェクトを選択する。                         |                |      |      |      |
|                                                | 6 | 3 | プロジェクトプラン作成 | ①プロジェクトを実現させるまでの見通しをたてる。                             | 【地理】           | 【☆見】 | 【★受】 | 【★肯】 |
|                                                | 7 | 4 |             | ②プラン発表会。①でたてた見通しについて、他の生徒や外部の専門家から評価をいただく。           |                |      |      |      |
|                                                | 7 | 2 |             | ③評価を踏まえて、計画を再検討する。                                   |                |      |      |      |
|                                                |   |   |             |                                                      |                |      |      |      |
|                                                |   |   |             |                                                      |                |      |      |      |
|                                                |   |   |             |                                                      |                |      |      |      |
|                                                |   |   |             |                                                      |                |      |      |      |
|                                                |   |   |             |                                                      |                |      |      |      |